

②記入例

提出した年月日(和暦)
を記入してください

様式第20号の4(第30条の3関係)

年 月 日

福井県教育委員会 殿

施主の住所・氏名を記入
してください(押印は不要)。
連名の場合、段落を変えて
記入してください。

住 所

氏 名

埋蔵文化財発掘通知書

周知の埋蔵文化財包蔵地において土木工事等のため発掘を実施したいので、文化財保護法第94条第1項の規定により、下記1の事項について、下記2の関係書類を添付し、下記3のとおり通知します。

記

1 通知事項

- (1) 土木工事等をしようとする土地の所在および地番
- (2) 土木工事等をしようとする土地の面積
- (3) 土木工事等をしようとする土地の所有者の氏名または名称および住所
- (4) 土木工事等をしようとする土地に係る遺跡の種類、員数および名称ならびに現状
- (5) 当該土木工事等の目的、計画および方法の概要
- (6) 当該土木工事等の主体となる者(当該土木工事等が請負契約等によりなされるときは、契約の両当事者)の氏名および住所(法人その他の団体の場合は、その名称および代表者の氏名ならびに事務所の所在地)
- (7) 当該土木工事等の施行担当責任者の氏名および住所
- (8) 当該土木工事等の着手の予定時期
- (9) 当該土木工事等の終了の予定時期
- (10) その他参考となるべき事項

2 添付書類

土木工事等をしようとする土地およびその付近の地図ならびに当該土木工事等の概要を示す書類および図面

開発行為を行う場所の所在地(地番まで)を記入してください。道路の場合は、字名まで記入し、路線名(例 市道〇〇線)も記入してください。

開発行為を行う場所の面積(m²)を記入してください。建築面積がわかる場合は、併せて、記入してください。道路の場合は、工事延長〇m、幅員〇mと記入してください。

3 内容

所在地			
面積			
土地所有者	氏名等:	土地所有者の住所・氏名を記入してください。複数の場合は、氏名・住所欄に「別紙一覧のとおり」と記入し、別添を添付してもてかまいません。	
	住所:		
遺跡の種類	散布地 集落跡 貝塚 都城跡 官衙跡 社寺跡 古墳 横穴墓 その他の墓 生産遺跡 その他の遺跡()		
遺跡の名称			
遺跡の現状	宅地 水田 畑地 山林 道路 荒蕪地 原野 その他()		
遺跡の時代	旧石器 縄文 弥生 古墳 奈良 平安 中世 近世 その他()		
工事の目的	道路 鉄道 空港 河川 ダム 学校 住宅 工場 その他の建物() 宅地造成 土地区画整理 公園造成 ガス 電気 水道 農業関連 土砂採取 観光開発 遺跡整備 その他開発()		
工事の概要	工事概要(例 個人住宅の新築、建替、道路の改良など)を記入してください。		
工事主体者	氏名等:	施主の住所・氏名を記入してください。連名の場合は、段落を変えずに、氏名を続けて記入してください。	
	住所:		
施工責任者	氏名:	施工業者の住所・氏名を記入してください。入札後に決定する場合は、氏名欄に「入札後、決定」とし、未定の場合は、氏名欄に「未定」と記入してください。	
	住所:		
着手予定時期	年 月 日	終了時期	年 月 日
参考事項	参考となる事項(例 建物解体後の工事实施、施工業者の担当者名・連絡先など)を記入してください。		
指導事項	発掘調査 工事立会 慎重工事 その他()		

福井県の埋蔵文化財索引地図に記載している遺跡名を記入してください。

福井県の埋蔵文化財索引地図に記載している時代に○を付けてください。

福井県の埋蔵文化財索引地図に記載している種類に○を付けてください。

開発行為を行う場所の現状に○を付けてください。地目にされているものではありません。

開発行為を行う目的に○を付けてください。

着手予定時期を記入してください。

終了予定時期を記入してください。

福井県が記入するため、記入しないでください。

注 遺跡の種類、遺跡の現状、遺跡の時代および工事の目的の欄は、該当項目を○で囲み、該当項目のない場合は()内に記入すること。